

拡大・資質・広報委員会 基本方針（案）

専務理事 大西 正起

拡大・資質・広報委員会 委員長 古林 史也

1 これまで、広報計画や、会員拡大に向けて立てた目標に対して様々な活動を行ってきました
2 たが、目標には達することができていません。そこで、志を同じくする者同士が活動を通
3 じて、地域のリーダーである責任を自覚し資質を高めていくことが大事になってくると考
4 えます。J Cとは地域の発展に携わり盛り上げていく団体であることを全員が理解し発
5 信して、将来を見据えた会員拡大、そして組織をさらに発展させていく必要性があります。

6 まずは、組織の結束力を高めるために全ての例会や事業の参加率3分の2以上を目標に、
7 S D G s を組み合わせながら、1つのゴールに向かって全員で協力しあうことが重要だと
8 考え、参加者全員が楽しみ、協働を図ることのできる例会を構築し、その中でメンバー個
9 々が気づきや良い変化となるきっかけを掴んで頂きます。さらに、例会で成し得た組織力
10 と、深められた知識を活かし、メンバー同士が一致団結し、我々の活動に対して共感して
11 いただける新しい仲間がいなかをピックアップし、新しい仲間との接点を創出します。
12 地域の方々を含め、少しでも J Cの良さや活動を理解してもらい、来たる60周年に向け
13 て会員拡大に努めます。そして、入会した方が、入会してよかったと思えることが資質向
14 上につながると考え、それが後に各人の責任感や使命感の自覚へと結びつくことでよりよ
15 い組織が創りあげられていくと考えます。また、J C活動をS N Sなどの情報媒体を通じ
16 て、まだ何も知らない地域の方々、そして共感していただける新しい仲間活動内容を知
17 っていただき、興味をもってもらい、参加したいと思えるような情報発信を心がけます。

18 メンバー自身が今一度J C I 鳴門板野のことを深く理解する場を創出することによって組
19 織の資質が高まり、メンバー間の絆が高まったワンチームが結束され、団体の活動を地域
20 の方々に情報発信することによって明るい豊かな社会の実現に向かっていくと考えます。

21

22

23

24 S D G s 4・17

25 [事業計画]

26 1. 2月・6月個々の資質を高め、組織力を底上げする例会の実施

27 2. 未来を見据えた会員拡大の取り組み

28 3. 期待と共感を得るJ C活動を伝える情報発信